



ベニスビエンナーレ作品より

ARTE&ARTE企画展
MINIARTEXTIL COSMO会場ローズ・マリー・ロルテ(仏)
のニットによるアート作品

ンナーレ、リトアニアテキスタイルアートビエンナーレ、イタリアコモでのテキスタイルミニアート及びテキスタイルのインスタレーション展等々国際的なスケールの大きい展覧会が経済的に厳しい中でも続けられています。現代アートの祭典ベニスビエンナーレ展2009の中でもイタリア館メイン会場に展示されたネット状の構成作品や人毛を使った作品など繊維素材が表現に利用されていることは、興味深く思われます。表現素材としての扱いの中に繊維の持つ独特の質感と可能性が引き込まれています。フィンランドのテキスタイルトリエンナーレでは久方に現地アーティストとの交歓をしました。

私が今一番注目しているのはイタリアのコモのARTE & ARTEの組織するテキスタイルアート展です。国の資金援助を持たない中で非常に中身の濃い作品の展示を、しかも毎年打ち出していることです。その熱意に大きな刺激を受けます。フランスのアンジェのトリエンナーレも今回、第9回目ですから通算27年間の活動になります。フランスと云えばフランスを代表する作家の一人に、ニットの技法を使って新しい造形の境地を拓いたマリー・ローズ・ロルテの総決算を示す展覧会がニオ地方のベルナルド・ダジェシー美術館で開催され彼女に会う機会を得ましたが現在80才を越える彼女の先駆者的活動は記憶に留めたいと思います。

● 今年2010年の動き

今年2010年は、ウクライナテキスタイルアートのビエンナーレ及びラトビアのトリエンナーレ、ヨーロッパタピストリートトリエンナーレ (artapestry2)、スペイン第8回コンテンポラリーテキスタイルアート展 (マドリード)、フィンランドの国際フェルト展、イタリアコモのARTE & ARTE企画展、中国の繊維芸術ビエンナーレ、50余国からの出品を集めるポーランドウッジの第13回国際タピストリートトリエンナーレ展と、ジョイント展等々のピクナ展覧会の他にサーフェスデザイン会議、アジアファッション連合の中国大会や上海万博が開催されます。トルコ国立マルマラ大学美術学部では第5回国際学生トリエンナーレが開催され招待状が届きました。私もフランスのミニアチュールトリエンナーレ、ポーランドのテキスタイルトリエンナーレ、イタリアコモのARTE&ARTE 企画展、中国の繊維芸術ビエンナーレなど色々の国際審査委員として招かれてきましたが、この事は日本の作家の質が非常に高いからであると思っています。テキスタイル業界にはまだ悲観的な考えをもっている人も多いようですが、日本の繊維産業の未来の可能性は大きく、自信をもって進むべきだと思っています。しかしそれには意識革命をする必要があるでしょう。

NPO国際テキスタイルネットワークジャパンもシルクロードプロジェクトに続いて2011年“日本現代ファイバーアート展”がニューヨークで決まり準備に入りました。最前線の仕事を世界に向けて発信してゆきたいと心を新たにしています。

日本テキスタイルデザイン協会も創立15周年を迎え大きく羽ばたく飛躍の年になって欲しいと願っています。 (わたなべ ひろこ)